

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 30. 5. 10 第 196 回国会第 7 号

5 月 10 日（木）、第 7 回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件（イラク派遣の日報等）

- ・小野寺防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

本多平直君（立憲）

- ・イラク派遣の日報問題に関し、統合幕僚監部による小野寺防衛大臣への報告が、陸上幕僚監部から報告を受けた本年 2 月 27 日から約 1 か月を要したことは、国会議員や国民の知る権利を侵害しており、責任者を特定した上で処分することが再発防止に繋がると考えるが、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・幹部自衛官による小西参議院議員に対する暴言を含む不適切発言事案で、幹部自衛官を訓戒処分にしたとのことだが、悪質なスピード違反が懲戒処分に当たることと比較して不均衡ではないか、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・普天間飛行場の辺野古移設事業をめぐり、海上警備を委託された警備会社が人件費を過大請求し、防衛省はその事実を把握した後も警備会社との契約を続けたが、この判断は正しいものであったと思うか、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。

渡辺周君（国民）

- ・イラク派遣の日報問題に関する大野防衛大臣政務官をトップとする調査チームの調査の進捗状況及び対象人数並びに今国会会期末を視野に入れた調査結果の発表時期の目途について、小野寺防衛大臣及び防衛省に伺いたい。
- ・偶発的な衝突を回避するために、日中首脳会談で合意した海空連絡メカニズムを十分に機能させるにはどうすべきと考えるか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・南北首脳会談において署名された「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言文」を受けて、今後我が国として朝鮮半島問題の解決に向けたプロセスにどのように関与していくのか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

赤嶺政賢君（共産）

- ・行政文書を作成又は取得した場合には、その名称、保存期間及び保存場所等を帳簿に記載することが義務付けられており、イラク派遣の日報がどのように作成及び破棄

されたかは、その帳簿を見れば明らかになると考えるが、その帳簿の確認は行われたのか、防衛省に伺いたい。

- ・イラク派遣開始以降における歴代の各幕僚長、部隊運用及び教訓業務に関わる部署への日報の取扱いに関する聴取りの内容及び帳簿への日報の記載内容を当委員会に報告すべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・辺野古新基地建設に関し、米軍が定める高さ制限を超える校舎等の建物があるにもかかわらず、日米の協議によりこれを適用除外としているが、本来、同基地の飛行場は設置が許可されてはならない欠陥飛行場ではなかったのか、また、高さ制限の問題は、同飛行場の建設予定場所の変更に伴って生じることとなったが、変更当時、沖縄県や名護市、学校関係者等の利害関係者に説明したのか、防衛省に伺いたい。

広田一君（無会）

- ・幹部自衛官による小西参議院議員に対する暴言を含む不適切発言事案を一自衛官の起こした事案と矮小化してはならないと考えるが、防衛省は、本事案が発生した背景及び原因をどのように分析しているのか伺いたい。
- ・防衛省の最終報告では、幹部自衛官が小西参議院議員に対し「国民の敵」と発言したかどうかは確認できなかったとのことだが、仮に幹部自衛官が「国民の敵」と発言していたとすれば、今般の処分に何らかの影響を及ぼすこととなったか、防衛省の認識を伺いたい。
- ・本事案を起こした幹部自衛官に対する処分に当たって、従来事例として、防衛省は、平成 22 年 2 月に陸上自衛隊の普通科連隊長が訓示において内閣総理大臣の発言を揶揄するような表現を用いたため注意処分を受けた事案を挙げているが、平成 22 年の事案と本事案とは質的に違うと思われ、平成 22 年の事案を考慮することは適切ではないか、防衛省の見解を伺いたい。

下地幹郎君（維新）

- ・南北首脳会談が開催され、拉致されていた米国人が帰国し、北朝鮮の金委員長が訪中する等、劇的な動きがある

現在の北朝鮮の状況について、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。

- ・ 4万人もの自衛隊員がアクセス可能であったことを考えれば、南スーダン派遣施設隊の日報は非開示処理をすることなく、そのまま国会議員に開示してもよいのではないか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・ 海外で活動する隊員の精神状態を分析し、大臣に報告するために、日報を分析する仕組みを構築することが必要であるとするが、小野寺防衛大臣に伺いたい。

照屋寛徳君（社民）

- ・ イラク派遣の日報問題に関し、陸上自衛隊宿営地周辺に迫撃砲攻撃が多発していた期間の日報がわずか2日分しか公表されていない事実とその原因について、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・ 幹部自衛官による小西参議院議員に対する暴言を含む不適切発言事案は、文民統制の信頼を大きく揺るがした事案であるとするが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・ 米海兵隊のネラー総司令官は、5月2日に国防総省で行った記者会見において、安倍首相と仲井眞前沖縄県知事との間で合意した来年2月が期限である普天間飛行場の5年以内の運用停止を否定し、継続使用の方針を述べているが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。